

特集

循環型教育 の確立を めざして



MAJOR ARTICLES

「臨床と教育の連携」は、基礎教育に携る者にとっても臨床側にとっても長年の課題です。基本的には、臨地実習を中心に考えられてきたこの問題ですが、看護師により高度な活躍が期待されつつある昨今においては、キャリアパスに関連づけて考えることもできます。

循環型教育システムは、基礎教育の段階から卒後教育までを視野に入れ、長期スパンで「教育」を考えるもの。今後、多くの教育機関と臨床が協力して取り組んでいく必要がある新たな試みです。今回は、循環型教育システムに向けたさまざまな形態での取り組みを、教育と臨床の組み合わせで3箇所の事例を紹介し、今後の指針の一つとしていただこうと考えました。

もちろん「循環型」をシステム化するには、それ以前に「普通に」教育と臨床の連携が取れている必要があります。これを機会に、連携の将来について話し合ってみてはどうでしょうか？